

2020 年「CBR250RR Dream Cup」開催概要

CBR250RR Dream Cup とは

「CBR250RR Dream Cup」は、Honda CBR250RR を使用したレースで、現在単気筒のマシンで開催中の「CBR250R Dream Cup」のステップアップクラスとして開催します。

改造範囲を制限しているのは単気筒クラスと同じで、マシンの性能差がほとんど無く、接戦が期待されます。

2020 年も各サーキットで開催予定です。

使用タイヤは DUNLOP のワンメイクとなっており、住友ゴム工業株式会社様のご協賛をいただき、各サーキット開催の優勝者に公認タイヤが贈呈されます。

全国大会については、※1「RR Dream Cup DUNLOP 杯 GC」を、※2 鈴鹿サーキットのフルコースで開催予定です。

詳細は現在調整中です。決定次第別途ご案内いたします。

※今後の状況に応じ開催を見合わせる可能性があります。

※1 「CBR250RR Dream Cup DUNLOP 杯グランドチャンピオンシップ」(RR Dream Cup DUNLOP 杯 GC)

※2 11月 21 日・22 日開催 第 56 回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

CBR250RR Dream Cup の魅力

1) パワフルで先鋭的なマシン

単気筒マシン「CBR250R」に比べよりパワフルなエンジンは「CBR250RR」の大きな魅力。

スロットルバイワイヤの装着等、先進の技術を搭載し、レース車両としてもより磨きをかけています。

(2)全国のサーキットで開催

参加資格は、年齢制限がなく、どなたでも参戦可能です。

全国の身近なサーキットでも開催するので、気軽にレースが楽しめます。

(3)全国大会の開催

全国のサーキットでシリーズ戦を争い、上位ランキング者に出場権が与えられます。

1. 2020 年度の開催レースに参加実績(1戦)があれば出場権が与えられます。

2. 各サーキットの対象ポイント獲得決定は、日程調整中です。

3. 代表選考は、各サーキットのシリーズ戦終了と同時に決定となります。

この決定を辞退することはできますが、保留にすることはできません。

4. 上位ライダーの中で参戦権辞退の申し出があった場合に限り、各主催者参加枠数まで繰り上げを認めます。但し、シリーズランキング 10 位までとします。

5. 決勝走行台数は調整中です。

6. 出場者が多い場合は、予選によって決勝競技出場者を決定します。

7. ライセンスについて

MFJ 承認競技会のため MFJ ライセンスが必要です。

- ・ジュニアライセンス:12～16 歳未満
(16 歳になった場合、フレッシュマンライセンスに移行される)
- ・フレッシュマンライセンス:16 歳以上
- ・国内/国際ライセンス

8. 施設別参加枠決定基準は、2020 年 8 月までの参加台数より参加枠数を決定します。

9. 開催される施設に「推薦枠」で 1 枠設けます。

各サーキットの開催クラス

各サーキットの開催クラスについては、サーキットにご確認ください。

レース参加車両について

Honda CBR250RR を使用すること。改造範囲は制限されており、エンジン及びフレームはノーマルのまま使用します。

サイレンサーの交換は認められているので、スリップオンマフラーの交換ができます。アンダーカウル、キャッチタンクなど、ロードレースの基本的な仕様への変更、改造が必要です。

HRC サービスショップからは、レース専用車両のスポーツベース車が各ショップオリジナルの仕様で販売されています。また、市販車の CBR250RR を改造しレース用キットパーツを組付けて参加することもできます。但し一般公道の走行は出来ませんのでご注意ください。タイヤは DUNLOP のワンメイクです。DUNLOP の α -13SP が指定タイヤとなっています。

HRC CBR250RR スポーツベース車について

CBR250RR スポーツベース車は、HRC サービスショップにて完成車コンプリート化することを前提に、HRC から HRC サービスショップへ提供している車両です。

ベース車両は、レース走行に不要なパーツ(ヘッドライトやストップランプ等)を外し、ECU やハーネスをレース専用のパーツと交換。レース走行に効果的なハンドシフターやピットレーンスピード制御スイッチを装備しています。

さらに CBR250RR はクラス初となるスロットルバイワイヤを装備、エンジン特性やエンジンブレーキフィードバックをスイッチ一つで変更できます。

またオプションのFIセッティングツールにより、燃調や点火時期を調整できます。

各サービスショップで用意する販売モデルは、レースに精通したサービスショップならではのラインナップとなります。

(販売時期・仕様・価格については各サービスショップにお問い合わせ下さい)